



～ 各種表彰 ～

第7回 高校生ホームページコンテスト

全国の高校から 115 作品の応募があり、総勢 175 名の高校生が参加しました。本校から参加した3年2組 井爪麻未 近藤沙紀子のみごと予選を勝ち抜きました。

10組しか進めない決勝大会では、エフエム群馬賞を受賞しました。



平成20年度京都府統計グラフコンクール

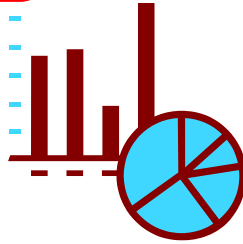
高校生以上の生徒・学生及び一般の部

KBS京都賞 受賞

題名 「先進国に日本は入るのか?!」

寺坂悠里 山口裕季 宮野海

川勝祥永 村山司



青少年育成協会

高校生等が学校生活や家庭生活、地域社会との関わりの中で体験したことや考えたことを、俳句や短歌で表現することにより、思考力や感性を養い、広い視野と豊かな心をはぐくむことを目的として「俳句、短歌で人とのふれあいを」が京都府青少年育成協会主催で実施されました。本校からは三年生十二名が俳句五句、短歌十四首の応募をしました。短い時間で、「普段の自分の気持ちをそのままに読むことを大切に」と伝えて生徒たちが創作してくれたものばかりです。

受賞作品は次のとおりです。

【俳句部門】

☆下伊豆 ちひろ (三年三組)

京都府青少年育成協会長賞

走り込み乱れる息と蟬時雨

☆佐伯 卓哉 (三年三組)

京都府教育委員会教育長賞

筋雲や祖父の背中とあばら骨

【短歌部門】

☆堀 仁美 (三年三組)

京都市教育委員会教育長賞

やわらかな声の行方に目をやれば

テレビに向かう祖父の笑む顔

☆西田 一紀 (三年一組)

優秀賞

実習林紅葉の絨毯踏み分けて

額の汗も気にせず進む

☆藤原 翼 (三年一組)

優秀賞

松茸の香りがくたびれ思い出す

頑固な祖父の後ろ姿が



表彰式は昨年末十二月二十三日(ハートピア京都)で盛大に行われ、五名が参加しました。

～只今、工事中です～

本校に来られたらびっくりされることでしょう。校舎がシートに覆われて異様な光景となっています。先日も玄関がわからず来客が困っておられました。

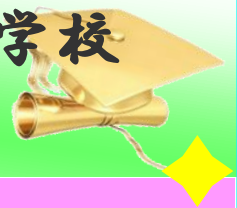
この工事は本庁執行によるもので、森林リサーチ科棟屋上防水、木造本館屋根改修及び木部塗装、図書館屋根トップライト改修等を行っているものです。3月末までの期間中は御迷惑をおかけしますが、御理解いただきますようお願いいたします。昨年度は下水道接続や体育館床改修も行われましたが、細かな部分での補修も学校独自で行いながら、より「安全」で「快適」な施設・設備になるようにしていきたいと思っております。(事務室より)



みがく。 かがやく。

京都府立北桑田高等学校

〒601-0534 京都市右京区京北下町三丁目
tel 0771(54)0022 fax 0771(54)0310
http://www1.kyoto-be.ne.jp/kitakuwada-hs/



こあいさつ
校長 佐藤 幸雄

The miraculous power of language

厳しい寒さもようやく峠を越し、そこかしこで鳥の鳴き声が聞こえてくる季節となりました。3年生はいよいよ卒業となります。北桑田高校で培った「心と体の知」が卒業後の人生を輝かせることを願っています。

少し前、NHKテレビ「ルソンの壺」にペットフード会社の社長が出演し「犬の『えさ』を『食事』と言い換えることで今までになかったペットフードを開発することができた。」というのを見ました。司会者がそれを「言葉が発想をかえるんですね。」とまとめたのを聞いて、あらためて言葉の持つ力を考えさせられました。

「えさ」を「食事」と言い換えることは、ちょっとばかばかしいと感じる人もいるでしょうし、正しい日本語という点からいうと間違いとされるでしょう。しかしその使い方を排除せずに、「犬の食事」と言ったときに感じるものを追求することで、今までとは違った角度から物事を見るのが可能になるはず。犬の食事？つまりえさのことだね」と言ってしまえば何も変わりません。すこし違った表現の中に新たな発想の種や成長の種が見つかるものです。

一方、普通は犬の「食事」とは言わない、ということを知っていなければ、えさを食事と言い換えても新鮮味がなく新たな発想にも結びつかないでしょう。言葉を知ると共に言葉を楽しむ。確実な知識と共に知識におぼれず知を楽しむ。言葉の持つ力を大事に扱っていききたいものです。

姉妹自治体交流表彰 審査委員会特別賞を受賞！！

京都府と中国陝西省は1983年に友好提携を締結し、以来、行政、民間レベルでの交流が進められてきました。

その中で、平成16年より同地において植林活動や林業技術支援事業（ログハウス建築）を取り組んできた功績が認められ、今年度晴れの審査委員会特別賞を京都府（北桑田高等学校）が受賞しました。

授賞式は1月27日（火）東京六本木グランドハイアット東京で開催され、本校より校長佐藤幸雄、担当教諭山名英夫、府国際課、京都府東京事務所より3名が参加しました。今回の受賞の評価とポイントとして、高校生という次世代育成に焦点をあてており、また最近厳しい状況にあるが、長期的に重要な林業分野の国際協力を行っている点などが高く評価されました。



追加資料

(財)自治体国際化協会とは、総務省所轄の財団法人で、地方公共団体の国際化交流を支援する目的で昭和63年7月に設立されました。略称 CLAIR(クレア)



姉妹自治体交流表彰について

この賞は、総務省と(財)自治体国際化協会が共催し、姉妹自治体交流の更なる活性化と地域の国際化を推進するため、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、その活動を全国に広く紹介すべく、平成18年度に創設されたものです。

